

情報提供について

85製剤群		ワークシート		特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル				適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
27	含嗽薬	21	含嗽薬		消化器官用薬	イソジンうがい薬	次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		うがい用のみ使用。症状が重い場合には眼科医の診療を受ける。	0.7%ポビドンヨード1回2~4mL(1~2目盛)を水約60mLにうすめて、1日数回うがいます。	口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去
				(その他)	消化器官用薬	バブロンうがい薬	本剤またはグルコン酸クロルヘキシジンによるアレルギー既往歴、口内の傷やひどいだれ				医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴	ショック(アナフィラキシー)	発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感	5-6日間使用しても症状がよくなる場合。		0.8%グルコン酸クロルヘキシジン1回0.25mL(6~8滴)を水またはぬるま湯100mL(コップ約半分)うすめて、1日数回(3~5回)うがいます。うがい用のみ使用。使用する時にのみうすめ、うすめた液は早めに使用。	口腔内の殺菌・消毒・洗浄	

情報提供について

85製品群				ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル	適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他			患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
								ヨウ素(口腔用)	セピールゴールショット	次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか誤りに注意	用法用量の項	効能の項
														医師または歯科医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、口内のひどいただれ、ヨウ素によるアレルギー既往歴、甲状腺の疾患、妊婦または妊娠の可能性、授乳中の人	アナフィラキシー様症状	あれ、しみる、灼熱感、刺激感、悪心、不快感	気管、食道、胃腸、皮膚、目、その他、身体各部に異常を感じた場合。5-6回使用しても症状がよくならない場合。		塗布用にはみ使用し内服しない。軽く息をはきながら噴射。薬液を誤って大量に飲みこんだ時は直ちに医師の診療を受ける。目に入らないよう注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い流し、直ちに眼科医の診療を受ける。	0.6%ヨウ素1日数回、直接のどの粘膜面に噴射塗布するか、または綿棒に本剤を浸みこませて、患部に塗布	のどの殺菌・消毒
32	ビタミンA 主薬製剤	25	ビタミン主 薬製剤	ビタミンA	ビタミンA	ビタミンA油	ステイタスA							医師の治療を受けている人、妊婦3か月以内の妊婦、妊娠していると思われる人または妊娠を希望する人(妊娠3か月前から妊娠3か月までの間にビタミンAを1日10,000I.U.(国際単位)以上摂取した妊婦から生まれた児に先天異常の割合が上昇したとの報告がある。)		かゆみ、悪心・嘔吐	1か月位服用しても症状がよくなる場合。		15歳以上1回4mg、1日1回、7歳以上15歳未満1回2mg、1日1回	次の症状の緩和：目の乾燥感、夜盲症(とりに目)、次の場合のビタミンAの補給：発育期、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時	

情報提供について

85製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
					適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
No	小分類	No	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること、など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか	用法用量の項	効能の項
33	ビタミンD 主薬製剤		ビタミンB1	ビタミンB1	塩酸フルスルチアミン	ステイタスB1錠						悪心・嘔吐・口内炎・軟便、下痢	1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合。		15歳以上：1回50mg、7歳以上15歳未満：1回25mg、1日1～2回服用。1日2回の場合は朝夕。	次の諸症状の緩和：神経痛、筋肉痛・関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、眼精疲労、手足のしびれ、便秘、脚気。（ただし、上記の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談） 次の場合のビタミンB1の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。	
34	ビタミンE 主薬製剤		ビタミンB2	ビタミンB2	酪酸リポフラビン	ステイタスB2錠						胃部不快感、胃部膨満感、食欲不振、悪心・嘔吐/下痢	1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合。		15歳以上：20mg、7歳以上15歳未満：10mg、1日1回服用	次の諸症状の緩和：口内炎、口角炎、口唇炎、舌炎、肌あれ、湿疹、皮膚炎、にきび、かぶれ、ただれ、目の充血、目のかゆみ、赤鼻。（ただし、上記の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談） 次の場合のビタミンB2の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。	

情報提供について

8 5 製品群	ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
							適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
							No.	小分類	No.	タイトル	次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。				
35	ビタミンB1 主薬製剤			ビタミンB6	ビタミンB6	リン酸ピリドキサル	ステイタスB6錠										15歳以上；60mg、7歳以上15歳未満；30mg、1日1回服用	次の諸症状の緩和：湿疹、皮ふ炎、にきび、肌あれ、かぶれ、ただれ、口内炎、口角炎、口唇炎、舌炎、手足のしびれ。 (ただし、上記の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンB6の補給：妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。
				(その他)	d-α-トコフェロール	ネーブルエクセル					医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、腎部不快感/便秘、下痢	1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合。生理が予定より早くきたり、経血量がやや多くなったりすることがある。出血が長く続く場合は、医師または薬剤師に相談。		1回100mgを1日1～3回服用、2回服用する場合は朝晩、3回服用する場合は朝昼晩	末梢血行障害による次の諸症状の緩和：肩・首すじのこり、手足のしびれ・冷え、しもやけ。更年期における次の諸症状の緩和：肩・首すじのこり、冷え、手足のしびれ、のぼせ、月経不順。(ただし、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンEの補給：老年期	

情報提供について

85製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
					適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
No	小分類	No	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、と	用法用量の項	効能の項
				コレカルシフェロール	ステイタスD3					医師の治療を受けている人		悪心・嘔吐／下痢	1カ月位服用しても症状がよくなる場合。		15歳以上1回0.01mg、1日1回、7歳以上15歳未満1回0.005mg、1日1回	骨歯の発育不良、くる病の予防、次の場合のビタミンDの補給：発育期、妊娠・授乳期、老年期	
44	カルシウム 主薬製剤	27	カルシウム 主薬製剤	カルシウム補 給成分	グルコン酸カルシウム	グルコン酸カルシウム	バイランCa			医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、胃痛、食欲不振／下痢、便秘	長期運用する場合。		1回量15歳以上20mL、11歳以上15歳未満15mL、7歳以上11歳未満10mL、3歳以上7歳未満5mL、1歳以上3歳未満2.5mL。1日1～2回。 (40mL中グルコン酸Ca 3000mg)	次の場合の骨歯の発育促進：虚弱体質、腺病質、妊娠授乳期の骨歯の脆弱防止。	
				—	(その他)	ボレイ末	ゼリアカルシウム液			医師の治療を受けている人		／便秘	長期運用する場合。		1回量15歳以上20～40mL、11歳以上15歳未満15～30mL、7歳以上11歳未満10～20mL、3歳以上7歳未満5～10mL、1歳以上3歳未満1回2.5～5mL。1日1回。(40mL中ボレイ末 842mg)	次の場合の骨歯の発育促進：虚弱体質、腺病質、妊娠授乳期の骨歯の脆弱防止。	

情報提供について

85製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
					適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
No	小分類	No	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、と	用法用量の項	効能の項
50	避妊薬	30	避妊薬	メンフェゴール	メンフェゴール(錠錠)	ネオサンブール錠				医学上の理由(病気等)で絶対に妊娠を避けなければならない人、男性か女性(あるいは両方)の薬や洗剤などによるアレルギー既往歴、性器にびらん・炎症等を起こしている人		発疹・発赤、かゆみ		腔内で錠剤が発泡しながら溶けるために温感を感じることがある。この避妊用薬は避妊を目的とするものでありHIV感染(エイズ)及び他の性感染症を防止するものではない。避妊効果は必ずしも100%ではない、適切な使用(裏面の正しい使い方)がなされない場合は妊娠することがある。	本剤は、腔用のみ使用し、内服しないこと。「正しい使い方」は別途詳細な記載あり。	必要時に1回60mgを腔内深く挿入	殺精子作用による避妊

情報提供について

85製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル	適応禁忌	併用禁忌			長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他	重篤な副作用	一般的な副作用				
52	抗ヒスタミン薬主要製剤	32	抗ヒスタミン薬主要製剤	抗ヒスタミン成分	塩酸ジフェンヒドラミン	塩酸ジフェンヒドラミン	レスタミンコーワ糖衣錠	次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、薬によるアレルギー既往歴、排尿困難、緑内障	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することによって出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか誤用は禁	用法用量の項	効能の項
					メキタジン	メキタジン	リリース錠	本剤によるアレルギー既往歴	他のアレルギー薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(かぜ薬、鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬、乗物酔い薬)	長期運用は避ける。	乗物または機械類の運転操作をしない。服用時は飲酒しない。	医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、授乳中の人、高齢者、薬によるアレルギー既往歴、排尿困難、緑内障	ショック(アナフィラキシー)、肝機能障害、血小板減少	発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、食欲不振、頭痛、ふらふら感、排尿困難/口のかわき	5-6日間服用しても症状がよくなる場合。		1回2mg、1日2回(朝・夕)	じんましん、湿疹・かぶれによるかゆみ、鼻炎	
54	殺菌消毒薬(特殊絆創膏を含む)	34	殺菌消毒薬(特殊絆創膏を含む)	殺菌消毒成分	ポピドンヨード	ポピドンヨード(消毒剤)	イソジンS	本剤によるアレルギー既往歴				医師の治療を受けている人、本人または家族がアレルギー体質の人、薬によるアレルギー既往歴、患部が広範囲の人、深い傷やひどいやけどの人	ショック(アナフィラキシー)	発疹・発赤、かゆみ	5-6日間使用しても症状がよくなる場合。	外用だけに使用し、内服、うがいや粘膜の殺菌・消毒には使用しない。目に入らないよう注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い、症状が重い場合には眼科医の診療を受ける。	10%ポピドンヨード 1日数回患部に塗布	きり傷、さし傷、すりむき傷、靴ずれ、やけど等の患部の殺菌・消毒、とびひ、おでこ等の感染皮膚面の殺菌・消毒	

情報提供について

85製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
					適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
No	小分類	No	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		用法用量の項	効能の項
55	しもやけ・あかぎれ用薬	35	しもやけ・あかぎれ用薬		(その他) ヘパリン類似物質(外用剤) 新メディナスHPクリーム	出血性血液疾患(血友病、血小板減少症、紫斑病など)				医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、湿潤やただれのひどい人		発疹・発赤、かゆみ、はれ	5-6日間使用しても症状がよくならない場合。	目に入らないよう注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い、異常があるときは医師に相談。外用にのみ使用。	0.3%ヘパリン類似物質 1日1~数回、適量を患部に塗布、またはガーゼにのばして貼る	手指の荒れ、ひじ・ひざ・かかと・くるぶしの角化症、手足のひび、あかぎれ、乾癬症、小児の乾癬性皮膚(ただれを除く)、きず・やけどのあとの皮膚のしこり・つっぱり(顔面を除く)、打身・ねんざ後のはれ・筋肉痛・関節痛
			殺菌成分	イブプロフェンピコノール	イブプロフェンピコノール(外用剤) エバユースにきび薬					医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、湿潤やただれのひどい人		発疹・発赤、かゆみ、刺激感(ヒリヒリ感)、はれ、乾燥化(つっぱり感)	1ヵ月位使用しても症状がよくならない場合。	にきびのある部分にのみ使用し、周辺の広い部分や目・目の周辺には使用しない。目に入らないよう注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い、症状が重い場合には眼科医の診療を受ける。外用にのみ使用。	3%イブプロフェンピコノール 1日数回、石けんなどで洗顔後、適量を患部に塗布	にきび、吹き出物
57	鎮痛・鎮痒・収れ	37	鎮痛・鎮痒・収れ	外用鎮痛・消炎薬												

情報提供について

85製品群	ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 服用や過量	用法用量	効能
							適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
No	小分類	No	タイトル				次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、と	用法用量の項	効能の項
ん・消炎薬 (パップ剤を含む)	ん・消炎薬 (パップ剤を含む)	抗炎症成分	インドメタシン 軟膏	インドメタシン (貼付剤)	インサイドハイパップP	本剤による過敏症既往歴、喘息、15歳未満の小児、目の周囲・粘膜等、湿疹・かぶれ・傷口、みずむし・たむし等または化膿している患部			連続して2週間以上使用しない。		医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー一既往歴		発疹・発赤、かゆみ、はれ、かぶれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感、皮下出血	5-6日間使用しても症状がよくなりません。		症状がある場合だけ使用。皮ふの弱い人は、使用前に腕の内側の皮ふの弱い箇所、1~2cm角の小片を目安として半日以上貼り過敏症が起きないことを確認する。	0.5%インドメタシン 1日2回を限度として患部に貼付(14cm×10cm)	肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、筋肉痛、関節痛、肘の痛み(テニス肘など)、腱鞘炎(手・手首の痛み)、打撲、捻挫

情報提供について

8 5 製品群				ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル	適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他			患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
				ケトプロフェン	ケトプロフェン (外用剤)	エバテックA クリーム	<p>本剤によるアレルギー既往歴、喘息既往歴、チアプロフェン酸・スプロフェン・フェノフィブラート・オキシベンゾンによるアレルギー既往歴、妊婦または妊娠の可能性、15歳未満の小児、目の周囲・粘膜等、湿疹・かぶれ・傷口、みずむし、たむし等または化膿している患部、</p> <p>本剤の使用中は天候にかかわらず戶外活動を避けるとともに日常の外出時も本剤の塗擦部を衣服・サポーター等で覆い紫外線に当てない。塗擦後も当分の間同様の注意（紫外線により、使用中または使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがある。）</p>	<p>次の人は服用しないでください。など</p> <p>本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など</p> <p>長期に使用しないでください。</p> <p>服用後の車の運転。服用中の飲酒など。</p>	<p>医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬や化粧品等によるアレルギー既往歴</p>	<p>まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。</p> <p>アナフィラキシー様症状、接触皮膚炎、光線過敏症</p>	<p>服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など</p> <p>発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水泡、ただれ、色素沈着、皮膚乾燥</p>	<p>相談することに出てくる事項で、左の3項目以外</p> <p>1週間程度使用しても症状がよくなる場合。</p>	<p>目に入らないように注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い、症状が重い場合には眼科医の診療を受ける。外用にのみ使用。1週間あたり50gを超えて使用しない。</p>	<p>3%ケトプロフェン 1日4回を限度として適量を患部に塗擦</p>	<p>筋肉痛、関節痛、腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、肘ひじの痛み（テニス肘など）、腱鞘炎けんしょうえん（手・手首の痛み）、打撲、捻挫</p>						